

役員立候補者等公示

公示番号 ー 01

立候補役職名	全道理事			
(ふりがな)	しまぎ けんせい	性別	生年月日	年齢
氏名	島崎 顕生	男	1980年1月26日	41 歳
勤務先名	社会福祉法人札幌市社会福祉協議会 札幌市北区第3地域包括支援センター			
会員番号	3 3 5 4 6	市町村	札幌市	道央地区支部
主な活動歴	私は平成19年より地域包括支援センターに勤務しており、社会福祉士として地域支援や権利擁護業務にあたってきました。 平成27年より地域包括支援委員会の一員として主に全道の地域包括支援センター職員を対象とした研修の企画立案に携わってきました。 平成29年からは道央地区支部幹事として地区支部の運営に携わり、2年前からは副支部長を務めています。			
立候補理由・抱負	私は社会福祉士会の運営や研修を通して、会員同士のアドバイスや励ましを多くいただけてきました。これは単に研修で知識を得るだけではない、職能団体として最大のメリットと感じています。このコロナ禍において、会のメリットを最大限に生かすのは非常に難しい局面だと感じています。しかし、今だからこそ新たな会のあり方を模索していく重要な局面に、私が今まで培ってきた経験やノウハウを基に、微力ではありますが皆様のお役に立ちたいと思い立候補させていただきます。			
推薦者 1	石崎 剛	会員番号	1 1 9 0 4	道央地区支部
推薦理由	島崎候補は地域包括支援センター支援委員会や道央支部副支部長として、札幌市をはじめ全道各市町村との連携を通じ、地域包括ケアシステムの構築の支援をされています。また高齢者虐待対応標準研修や介護支援専門員専門研修等を通じた専門性の支援、弁護士会と連携協働した虐待防止専門職チームの運営等に寄与されています。 12年目を迎えた地域包括支援センターでは、現在センター長として勤務され、受託者である社会福祉協議会の強みを活かし、利用者の個別支援と地域支援を一体的に実践し、多機関と信頼関係を築きながら、日々ソーシャルワーク実践をされています。また、権利擁護活動として札幌市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員も務められています。 今後も権利擁護を担う様々な専門職と協働し、社会福祉士が持つ専門性の向上に寄与されると考え北海道社会福祉士会理事へ推薦します。			
推薦者 2	鈴木 信博	会員番号	5 3 0 4	道央地区支部
推薦理由	高齢・障がい・子どもなど幅広く関係団体との連携にイニシアティブを発揮し取組んできたことが評価され札幌市内27ある地域包括支援センターの取組みの中から令和元年度の最優秀賞に導いた実績があります。社会福祉士、地域包括支援センター長として北海道社会福祉士会道央地区支部副支部長として権利擁護などの研修企画や講師に留まらず北海道地域包括支援センター職員研修、北海道介護支援専門員現任研修講師など多岐にわたり社会福祉士や介護支援専門員の指導に活躍してきた実績があります。また現場では職員育成にも熱心で職員のモチベーションを上げながら職場づくりを行い、皆から頼りにされています。人柄も誠実で人望も厚い方です。職場内の会議では的確な判断と発言で建設的、発展的な考えでチームをまとめ取組まれますので、会の発展に必要な方です。これまでの実績や人間性から理事として適任と考え推薦いたします。			
推薦者 3	菅 しおり	会員番号	2 1 4 6 8	道央地区支部
推薦理由	島崎顕生さんは、道央地区支部の副支部長を受任され、現在活動されています。 地区支部活動では、包括委員会も兼任しており、研修会なども積極的に計画立案もされています。 ご自分の業務では、札幌市北区第3地域包括支援センターの管理者をされていて、高齢者の介護予防や各種相談を行い地域に貢献しています。 今までの活動の様子や意欲を見ていて、是非北海道社会福祉士会の理事として、活躍してほしいと今回推薦させていただきました。 今後、理事として活躍されて、地区支部との協力体制もより強固なものにできる様な活動を期待しています。 私は道央地区支部の支部長として島崎顕生さんを推薦します。			